

# 健康



## 免疫力高めがん克服

### 独自療法に取り組み

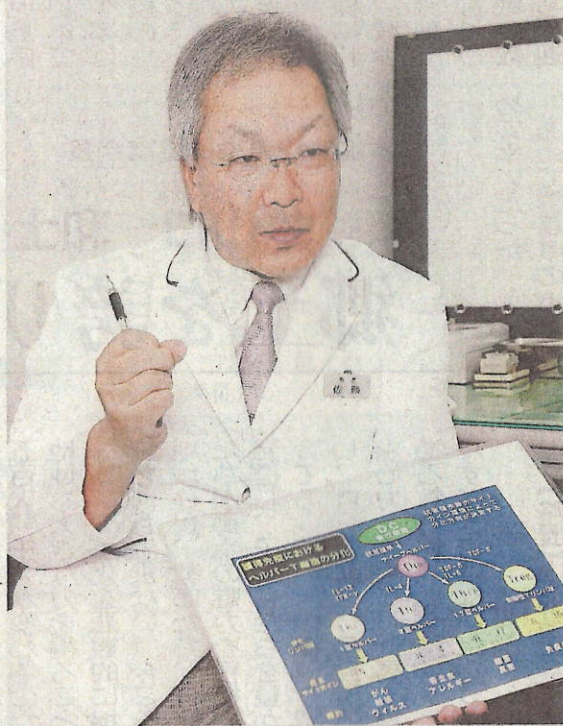
### 佐藤医師(橋身)に聞く

独自の免疫監視療法でがん治療に取り組んでいる横浜サトウクリニク(横浜市)。全国から訪れる末期がんの患者が、免疫力を高めることでがんを克服したり、延命に成功しているという。佐藤忍院長(59)は前橋市出身。同療法の特徴や治療の現状を聞いた。

免疫監視療法は、免疫刺激物質(BRP)を注射する。後、小さな腫瘍は縮小したが、大きな腫瘍は増大。投与を続けたところ、大きな腫瘍も縮小し、3年11ヵ月後には消失した。その間、いつも通りに仕事をし、残業までこなすほど体調は安定していたという。「免疫力が腫瘍の増殖力に追いつくまでは抑制力が不十分で腫瘍が増大します。でも、免疫力が追いつくと、増殖を抑制し、縮小するのです」

#### 腫瘍の増殖抑制

肝細胞がんで肝臓の一部を切除したが、1年後に両肺に転移が見つかった男性(45)が「抗がん剤の全身投与を受けたが、全く効果がない」と、受診した。月1



## 刺激物質で白血球活性化

9月2日午後1時半から、高崎市問屋町のヒエン高崎で佐藤忍院長が「免疫力のスイッチを入れてがんを自分で治すーがんも栄養」と題して講演する。独自の免疫監視療法の特徴や治療の方法、栄養との関係などについて詳しく解説する。2部は「食生活に役立つ話をテーマに、栄養士(健康食育シニアマスター78)へ。

#### 普及活動に力

「がんの免疫療法には即効性はありません。急速に進行してしまうような暴れん坊のがんよりも、のんびりタイプのがんの方が治療効果が期待できると言えます。がんの治療法はいろいろありますが、まずは、信頼できる医師を見つけ、症状にあった適切な療法を見

さとう・しのぶ 1958年、前橋市生まれ。高崎高、杏林大医学部卒。群馬大大学院医学研究科修了。95年に急逝した父の跡を継いで横浜サトウクリニク院長に就任。医療法人社団自然会理事長、生体防御療法研究会副会長。医学博士。著書に『新たな選択 免疫監視療法』(かざひの文庫)。

佐藤院長は「亡き父が人生をかけて確立した免疫監視療法を全国に広めたい。一人でも多くの患者が一日でも長く家族とのだらんの時間を過ごせるよう医師として力を尽くしたい」と話している。

## がんの家計

◆3◆

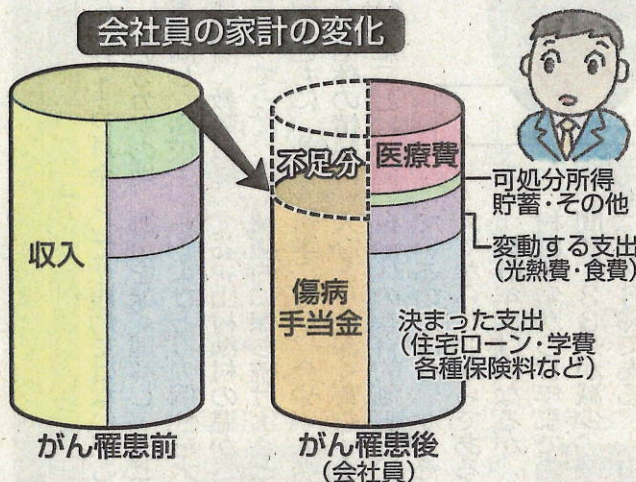
がんは罹患すると、これまで担ってきた役割と生活が変化するので、それも大きな負担となります。会社員(正社員)が罹患した場合、どんな困り事があるのでしょうか。

## 減少見据え支出見直し

場の協力は必須ですが、たくさんあります。病気、制度を理解し、どうするか決定し、バタバタと治療の日を迎えます。治療生活に少し慣れてきた頃には、「いつ、どのくらい収入が補われるか、それまで関心がなかったうやうやして復帰できるのか」という次の悩みが頭をもたげてきます。

会社員は「一定の収入」が見込まれるため、資金計画を立てやすい面があります。罹患後は収入が減少するので、元の固定費(支出)が大きいと家計を圧迫します。これは収入の多い人にも言えることです。会社員は、がんを罹患すると利用できる制度があること、実際に収入が減ることを把握した上で、家計の方針を考へることがポイントになります。

## 休職中の収入



(見解も：「がんサバイバーの経済的痛みを支える」医学のあゆみ 252 巻 13 号より)

か」という次の悩みが頭をもたげてきます。復職のめどが立たない人の場合、傷病手当金の受給期間(1年6ヵ月)が過ぎると、「収入がなくなるのではないか」という不安がきまるといいます。初診日から1年6ヵ月を経過して復職できないような体調の場合、障害年金という公的年金を利用できる可能性があります。知らなければ使えない制度です。幸いAさんは治療後にラスト・瀬戸うらら

## 体内時計乱れ アルコール依

アルコール依存前には体内時計が乱れる段階がある。春東京大教授(健とドイツ・ハイデ大などのチームが使った実験でその発見し、英科学誌に発表された。

## 東大チーム 動物実験で確認

体内時計の乱れに設置したセンサーを長期間追跡し、山本教授は「人のル依存症やうつ病病気でも、同様のきている可能性が帯型センサーなど報告を監視し、病



イラスト 松沢秀

## 健康食品の摂取注意を

肝障害の可能性 国民生活センターは、健康食品を摂取することにより、体質によ

報受付窓口にて、今年7月までに健康食品が要因とみられる肝障害の情報9件寄せられた。全員40歳以上で、女性が7人、男性が2人。いずれも1ヵ月以上医療機関を受診し、3人は入院した。

## 低脂肪乳製品 発症リスク1.34

パーキンソン スキムミルクや低脂肪どの低脂肪乳製品を多量することがパーキンソンスクを高める可能性がある。米ハーバード公衆衛生大の研究グループが医学発表した。研究グループは、二つ